

## 「地域づくりと広報についてのアンケート」実施報告

地域づくり支援室と広聴広報室が実施しました「地域づくりと広報についてのアンケート」の結果を下記のとおりまとめましたのでご報告します。回答にご協力いただき、ありがとうございました。

同アンケートの内容及び回答集計については、e-モニターのホームページ（下記リンク先）をご覧ください。

<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top;result&id=104>

### アンケート概要

#### アンケート実施期間

平成23年9月16日から平成23年10月3日まで

#### 意見募集の結果

対象者数 1,593人  
回答者数 1,069人  
回答率 67%

#### 回答者属性

##### 【性別】

	男性	女性
回答者数（人）	582	487
構成比（%）	54.4	45.6

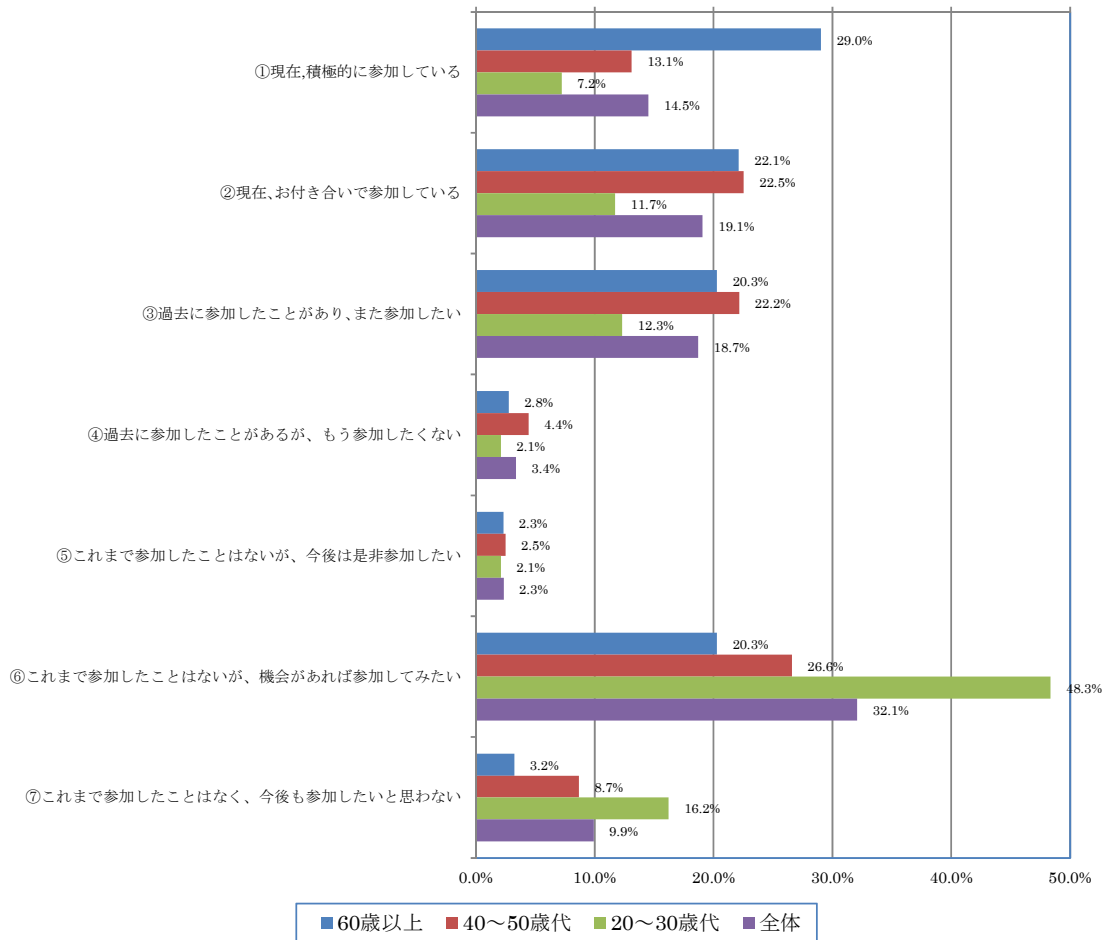
##### 【年代別】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
回答者数（人）	98	235	276	243	158	59
構成比（%）	9.2	22.0	25.8	22.7	14.8	5.5

##### 【地域別】

	北勢	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野
回答者数（人）	537	161	131	121	88	12	19
構成比（%）	50.3	15.0	12.3	11.3	8.2	1.1	1.8

## Q 1 地域活動への参加状況



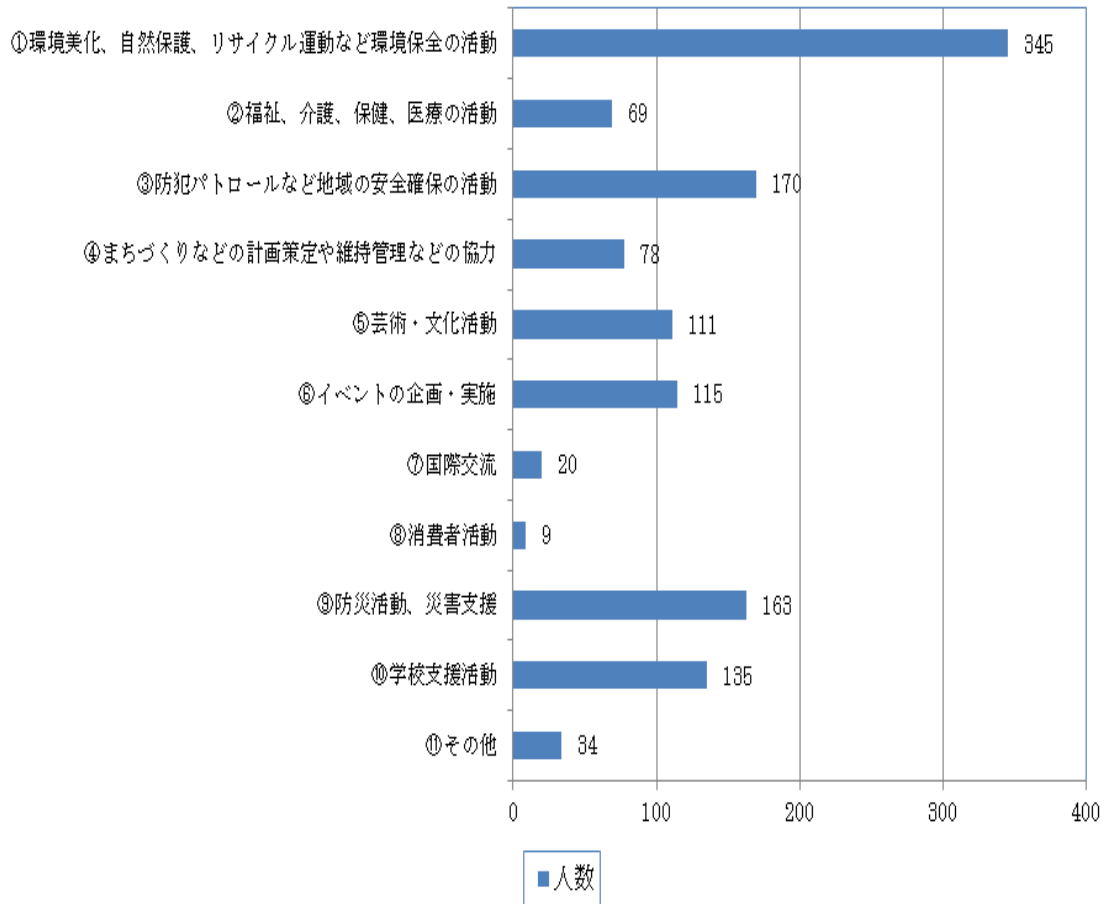
最も多い回答は、「⑥これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」で、約 3 割の方が回答しています。

「①現在、積極的に参加している」または「②現在、お付き合いで参加している」と回答したのは、約 3 割の方です。

「④過去に参加したことがあるが、もう参加したくない」または「⑦これまで参加したことはなく、今後も参加したいと思わない」と回答したのは、約 1 割の方です。

世代による違いとして、60 歳以上では、「①現在、積極的に参加している」の割合が全体を大きく上回り、「②現在、お付き合いで参加している」がやや多くなっています。40～50 歳代では、全体に比べ「②現在、お付き合いで参加している」「③過去に参加したことがあり、また参加したい」がやや多くなっています。20～30 歳代では、全体を大きく上回っているのが「⑥これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」「⑦これまで参加したことはなく、今後も参加したいと思わない」です。

## Q2 活動している（した）活動（複数回答可）



最も多い回答は、「①環境美化、自然環境、リサイクル運動など環境保全の活動」で約3割の方が回答しています。次に多い回答は、「③防犯パトロールなど地域の安全確保の活動」「⑨防災活動、災害支援」でそれぞれ、約1.5割の方が回答しています。その次に多い回答としては、「⑥イベントの企画・実施」「⑤芸術・文化活動」でそれぞれ、約1割の方が回答しています。

### 【Q1、Q2のアンケート結果を受けて】

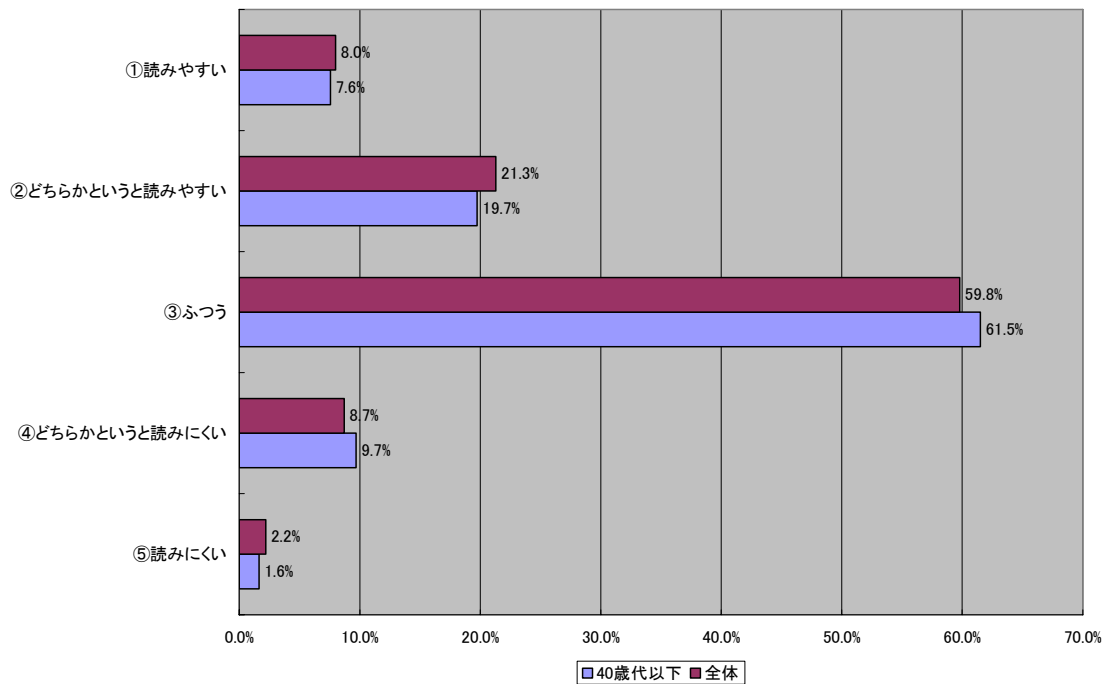
地域活動に「現在参加している方」（回答①②）、「今後参加したいとの意思がある方」（回答③⑤⑥）は、全体で約7割の回答があり、地域活動への参加意識の高さがうかがわれます。

年代別で見ると、「現在参加している方」は、60歳代以上の方が全体を大きく上回っており、退職後の余暇を活用した活動への参加等が推測されます。

20～30歳代では、全体に比べ「現在参加している方」の割合が一番低くなっていますが、「⑥これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」と回答した方の割合が一番多く、住民活動への興味がうかがえることから、当年代への住民活動の取組状況の周知や参加機会の提供などが望まれます。

アンケート結果については、今後の地域活動への県民の皆さんの参加促進や活動内容の充実に向けた、県の施策の立案等に活用させていただきます。

### Q 3 「県政だより みえ」の読みやすさ



最も多い回答は「③ふつう」と、約6割の方が回答しています。

「①読みやすい」または「②どちらかという読みやすい」と回答したのは、約2割の方です。

「④どちらかという読みにくい」または「⑤読みにくい」と回答したのは、約1割の方です。

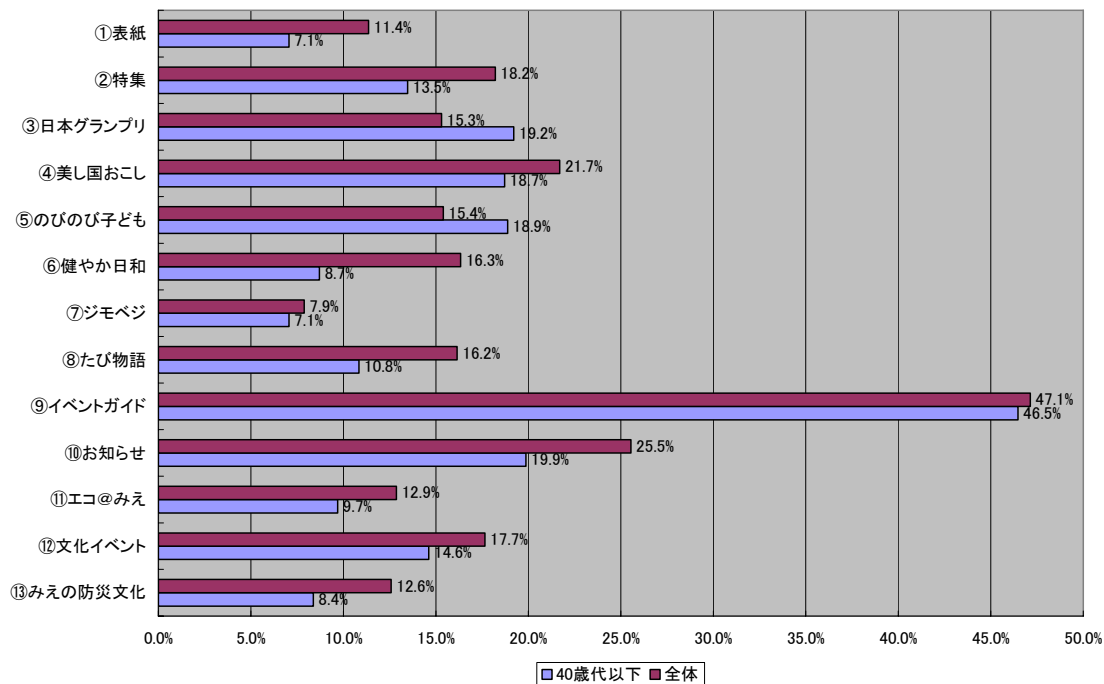
世代による大きな違いは見られませんでした。

### Q 4 「県政だより みえ」の読みやすさについての理由

「①読みやすい」「②どちらかという読みやすい」を選んだ理由は、編集に関するものでは、「イラスト・写真の活用、カラー使いがよい」「文字が大きくて見やすい」「ジャンル別にされていて読みやすい」などです。内容に関するものでは、「記事が多方面で興味がわく」「社会の動向にタイムリーな内容が多い」などです。

「③ふつう」を選んだ理由から、改善を求めるものが多くなっています。編集に関するものでは、「カラーを使い過ぎると読みにくい」「字の小さい箇所が多い」「詰め込み過ぎ」という意見などです。内容に関するものとしては、「かたい」「目を引くものがない」「伝えたいメッセージがわからない」などです。また、「③ふつう」の理由には「きちんと読んだことがない」というものが多数ありました。

## Q 5 「良い」または「役に立った」記事（複数回答）

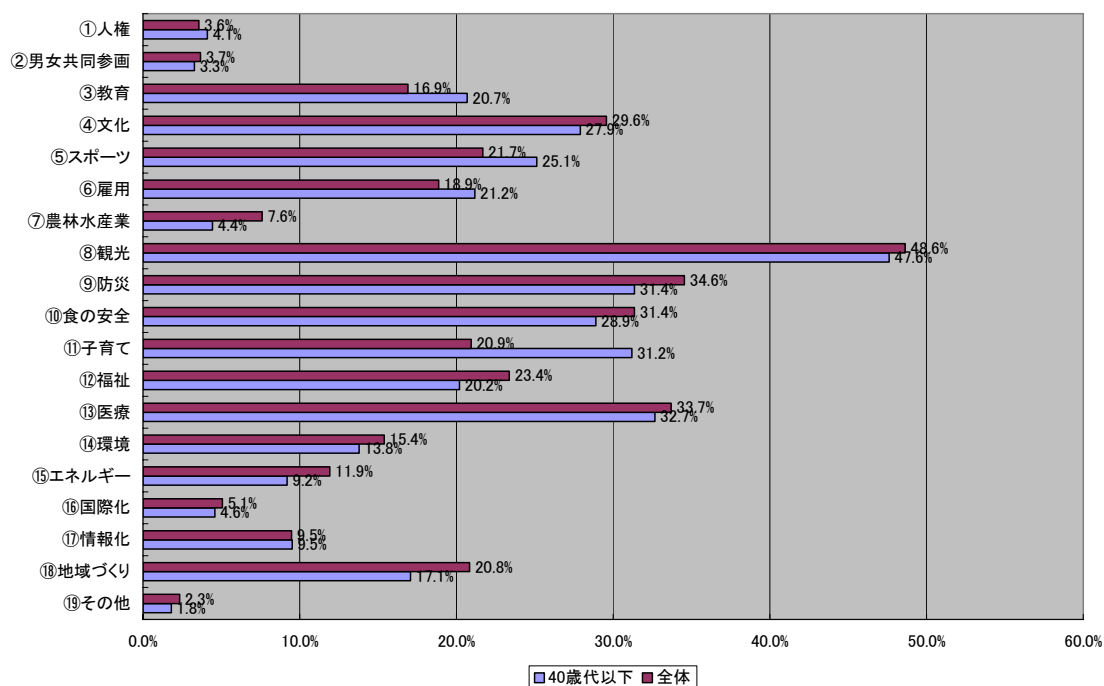


最も多い回答は、「⑨イベントガイド」です。Q 7 の自由回答においても、「イベント会場付近の渋滞情報を掲載してはどうか」「イベント参加後の感想をのせてはどうか」などイベントガイドに関係する意見を多数いただきました。

そのほかに多かったのは、「⑩県からのお知らせ」「④「美し国おこし・三重」のページきずな」でした。

世代による違いとして、40歳代以下が全体より多く選んでいるのは「③日本グランプリ」「⑤のびのび子ども」です。全体が40歳代以下を大きく上回っているのは、「⑥健やか日和」です。

## Q 6 「県政だより みえ」で取り上げて欲しいテーマ



最も多かったのは「⑧観光」で、約半数の方が選んでいます。ほかに多かったのは「⑨防災」「⑬医療」「⑩食の安全」です。

40歳代以下が大きく全体を上回ったのは、「⑪子育て」です。Q5の結果にもみられたように、ここでも若い世代が子育てに関心が高い結果となりました。

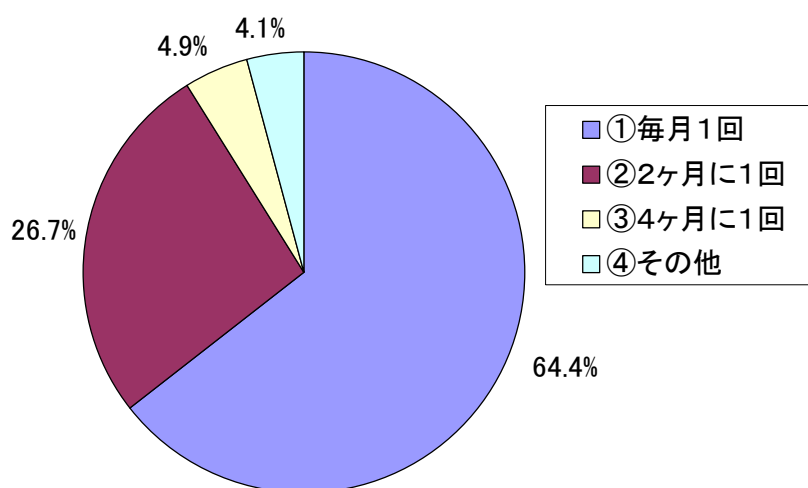
「⑲その他」で回答されたものはさまざまでした。「ボランティア情報」「景観」「企業支援」や、台風12号や原発関連などタイムリーな記事を求める意見もありました。

#### Q7 「県政だより みえ」に対するアイデア

回答いただきましたアイデアの一部を紹介します。

- ・ 県民お得情報と題して、得する情報を提供する。
- ・ クーポンをつける。
- ・ イベントをカレンダー形式にしてひと目でわかるようにする。
- ・ 市町の様子や特徴である「セールスポイント」を順に掲載する。
- ・ 県民からの情報コーナーや募集コーナーを設ける。
- ・ 年間通じて、同じテーマで県民との意見交換を紹介する。
- ・ モダン、シンプル、遊び心、デザイン力のあるものにする。
- ・ マンガ風に会話を使う。
- ・ HPの電子データは、見開きでなく単ページにする。
- ・ 有名人に県政の解説をしてもらう。

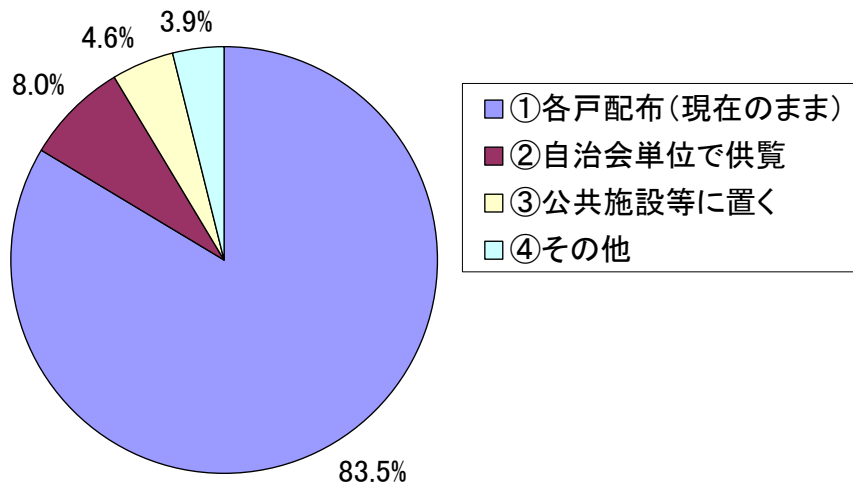
#### Q8 「県政だより みえ」の発行回数



「①毎月1回発行」を最も多い64.4%の方が希望されています。

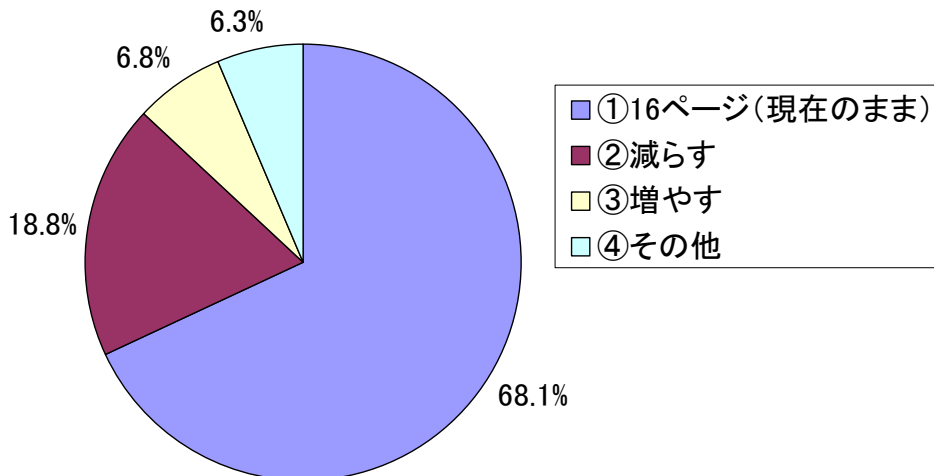
その他では、「隔週発行」「半年に1回」「必要に応じて」「廃止」などの意見をいただきました。

Q 9 「県政だより みえ」の発行方法



「①各戸配布」を最も多い 83.5%の方が希望しています。  
その他では、「ネット公開」「メールマガジン」「希望者のみ有料」の意見がありました。

Q10 「県政だより みえ」のページ数



「① 16ページ」を最も多い 68.1%の方が希望しています。  
その他では、「必要に応じて増減」という意見が多数ありました。

### 【Q3～Q10のアンケート結果を受けて】

まず、文字が小さい箇所を無くし、カラーやイラストについても読みやすさの観点で活用していきます。

また、内容に関し、紙面で説明しきれない部分があれば、詳細情報が載っているHPへの誘導により補完することを引き続き行います。その周知もしつかり行います。

なお、HPの県政だよりの電子データは単ページに変更しました。

全体的に関心が高いイベント情報など、県民の生活に近い情報や県民参画を促進する情報を積極的に取り入れ、まず、手に取ってもらえる広報紙をめざします。

関心が高かったテーマについても、特集や連載などで取り上げていきます。

平成24年6月号からは、表紙を観光振興に関する記事とするほか、新たに「医療」、「雇用」を連載テーマに加えます。

また、発行2ヶ月前に編集を行いますが、社会で話題となったテーマについて、後で丁寧に知らせるという手法も意識した紙面づくりを行います。

発行形態について、発行回数、ページ数、配布方法とも、それぞれ現状どおりの希望が最も多いため、毎月1回、16ページ、各戸配布を継続します。